カリキュラム

B 組織マネジメント	管理者のための問題解決力向上
組織力強化	

コースのねらい	組織課題に対し、業務の問題の本質を的確に捉え、業務の問題解決を図るための手法を学び、管理者として必要となる問題解決を実行するための知識と技能を習得する。

		「基本項目」	「主な内容」	訓練時間（H）
指導内容	1	組織の課題と対応策	(1)問題解決力の原点「改善」 ・生産現場の問題解決に向けて、改善の原点「トヨタ生産方式」を現存する唯一のスライド「徹底的なムダ排除による原価低減」【豊田自動車購買管理部】を用いて解説する	1.0
			(2)管理者の役割、組織の課題・問題点 ・管理とは何か？管理者の役割とは　グループ討議を通じて定義を行う　・また組織の課題・問題点を共有し対応策を探る	0.5
	2	問題の発見と見える化	問題点の見える化 業務フロー、レイアウト、流れ線図、人員配置、正味工数等を解説し、問題点の見える化に繋げる	0.5
			問題解決のステップ 問題解決に最も効果的な価値観「サイクルタイム」「原単位」について開設し、真の生産性向上に繋がるよう3M（人・モノ・設備）の問題解決のステップを解説する。	0.5
	3	問題解決に向けた取組み	問題解決に向けて 問題解決に向けての演習を実施し、ステップを確認する	0.2
			管理者としての目標・。取り組み PDCAの回し方、実行計画書の作成・発表	1.0
演習		問題解決に向けた「改善」演習		1.8
応用・実践要素		他社の事例紹介		0.5
			合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント

弊社はトヨタ生産方式創始者大野耐一氏に師事した現会長山田日登志が設立した会社です。
現在、製造業を中心に約30業種300社の会員企業さまと共に日々カイゼンに取り組んでいます。 出荷に合わせたものづくりが出来るよう、多品種少量生産ライン（セルライン・一人屋台）の構築を通じて、生産リードタイムの短縮・工数低減・在庫削減・設備の在り方までマルチに結果を出せるのが強みです（改善指導者、改善マンも約15000名養成しました）
今回のカリキュラムもトヨタ生産方式の思想をベースに組み立ててあります。実際に自社に於いて時間管理、タスク管理が実践出来るよう演習を中心に進めます。

訓練に使用する機器等

●機器・ソフトウェア（受講者用）	●機器・ソフトウェア（講師用・その他）
	・PC（講師用）　・プロジェクタ　・スクリーン　・ホワイトボード OS：Windows10 アプリケーション：Microsoft Office 2010 PowerPoint
●使用するテキスト	**●その他**
・自作テキスト	演習時不足があればアシスタントをつける

利用事業主に用意を求める機器等	備考
・ホワイトボード　・マーカー（赤・黒） ・プロジェクター・スクリーン	